

F1234-1pm-05 Self-Healable Conductive Glassy Polymer Extended toward Practical Applications (東大院工) KAIYUAN HE 氏

【エネルギー関係ほか】

(触媒, エネルギーとその関連化学, 地球・宇宙化学, 資源利用化学・環境・グリーンケミストリー)

E1122-2pm-04 シクロアルカンの選択酸化反応を指向した鉄系ペロブスカイト酸化物の高機能化 (科学大院物質理工) 山本昌尚 氏

E1123-4am-04 触媒的脱水素芳香環形成を経る *m*-フェニレンジアミン誘導体の選択的合成 (東大院工) 木村平蔵 氏

E1123-4am-06 銀担持酸化チタンを用いたパーフルオロアルキル化合物の触媒的光分解 (立命館大院生命科学) 豊田悠斗 氏

A1453-1pm-05 高精度気泡発生分光計測による電気化学酸素発生機構の解明 (北大院理) 芦澤大輝 氏

A1453-1pm-08 Sustainable thermoelectric materials fabricated using high entropy perovskite oxynitride nanoparticles as building blocks (北陸先端科学技術大) Simon David Moore 氏

A1454-1pm-03 生体分子センサーによる高分子識別: 蛍光シグナルへの機械学習の適用 (科学大院物質理工) 長谷川史穂 氏

第 106 春季年会「イノベーション共創講演賞」表彰

産学交流委員会

日本化学会産学交流委員会では、1996 年度開催の第 72 春季年会から若い世代の講演発表者の研究活動の奨励を目的として「講演奨励賞」を、2008 年度からは「優秀講演賞 (産業)」と改称して講演発表者を顕彰してきました。2012 年度からは、対象をアドバンス・テクノロジー・プログラム (ATP) で実施される ATP ポスター (2020 年度からイノベーション共創プログラム (CIP) ポスター) に限定して、審査・選考、表彰を行ってまいりました。2024 年度から「イノベーション共創講演賞」に名称を変更し、第 106 春季年会にて審査・選考を行いました。

この「イノベーション共創講演賞」は、「産業に対する寄与が期待される基礎的または応用的な概念、アイデア、実験手法、実験結果などについての発表であり、発表者の研究に対する主体性や貢献度が優れ、かつ今後の研究活動の一層の発展の可能性を有すると期待されるもの」に対して会長名で表彰するものです。

3 月 17 日 (火) ~ 20 日 (金) に日本大学理工学部 船橋キャンパスにて開催された第 106 春季年会では、審査希望のあった研究者の講演を対象に産業界の審査員が審査しました (2024 年度より年齢制限を廃止)。CIP 企画小委員会および産学交流委員会による厳正な選考の結果、申請のあった 48 件の中から今年度の受賞者として下記の 3 名が選出されました。高い評価を得て表彰に値すると選考された受賞者には、その栄誉をたたえ、さらに一層の研鑽を積まれますことを期待して、所属機関長を経由して表彰状および副賞をお届けしました。なお、副賞は、2001 年ノーベル化学賞受賞者である野依良治博士の自伝で、ドイツ化学会の雑誌『Angewandte Chemie』の編集長を長年にわたり務められた Peter Göllitz 博士より、本賞受賞者のためにご寄贈いただいたものです。

イノベーション共創講演賞 受賞者一覧

【資源・環境・GSC (Green Sustainable Chemistry)】

- ・ 上田 善弘 (国立研究開発法人産業技術総合研究所・主任研究員)
P3-1vn-09 「使用済タイヤの二段階ケミカルリサイクル法の開発」

【新素材・材料】

- ・ 吉田 嘉晃 (九州工業大学大学院工学研究院・准教授)
P3-1vn-22 「自己修復とリサイクルがともに可能な光学樹脂の開発」

【新素材・材料】

- ・ 樋野 優人 (高知工科大学大学院工学研究科・D2)
P3-1vn-35 「弱光駆動と光反応中間状態の可視化へ: アントラセン誘導体結晶における“光-熱”二重応答制御」

北海道支部支部長賞受賞者

北海道支部

北海道支部では支部活性化と化学の奨励を目的に、平成 3 年より北海道内高専生の成績優秀者を対象に「支部賞」、平成 15 年度より支部で活躍する若手研究者の研究活動を奨励するための「日本化学会北海道支部研究奨励賞」と北海道内の高校生化学系クラブ活動を奨励するための「日本化学会北海道支部研究奨励賞 (高校生活動の部)」, また平成 18 年度より支部研究発表会にて優秀な発表を行った日本化学会学生会員を対象に「北海道支部優秀講演賞・優秀ポスター賞」の計 4 賞を制定し、毎年顕彰しております。さらに平成 20 年度より「化学グランプリ北海道支部長賞」を制定し、全国化学グランプリにおいて優秀な成績を取めた北海道内の参加者を対象に顕彰しております。